

ポイント1

こみねじょうあと みる なすれんぼう 小峰城跡から見る那須連峰



- 見る対象: 那須連峰 ■見る方向: 南西
- 見る場所: 白河市郭内 地内 (小峰城跡から那須連峰方面)

降雨時、芝生での足濡れに注意!

このポイントについて

言わずと知れた、白河市のシンボリック建造物。

撮影ポイントは展望台から一段上がったところにあるため一見わかりにくいので注意。

風月の芸術祭in白河開催中。～11/3まで。一緒に楽しむのがおすすめ。

東日本大震災により、三重櫓の崩壊には至らなかったものの数箇所の石垣や曲輪が崩壊、または積み重ねがゆるむ被害がありました。曲輪上にあった白河バラ園や公園・石碑等も崩壊し、震災以後は本丸への立ち入り禁止となっていました。

特に三重櫓下段の曲輪の崩壊被害は大きく、小峰城入口からも確認できた。2011年秋から修復工事が行われ2019年4月、鈴木和夫市長が城山公園で石垣修復の完了を宣言しました。

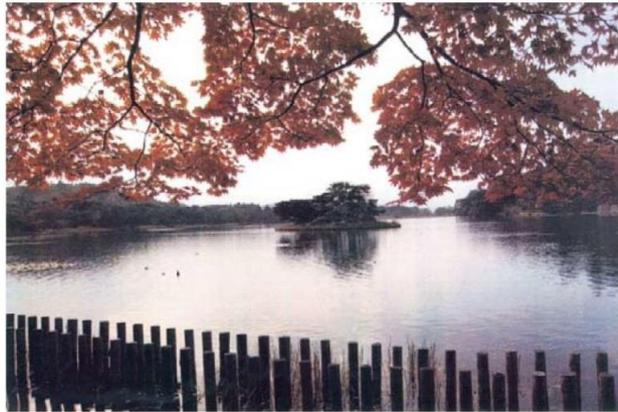
なお、白河バラ園は閉園となりました。

このポイントのコツ

専用駐車場あり。白河駅側からならばコンピエーニュ広場を眺めつつ、JR線路下を通る道を歩いてのアクセスがオススメ。芝生が気持ちいいので、ちょっと一息休んでいくのもGOOD。

ポイント2

南湖公園千世の堤から見る紅葉と御影島



- 見る対象: 南湖公園 ■ 見る方向: 西
- 見る場所: 白河市南湖 地内 (南湖公園千世の堤から御影島方面)

このポイントについて

白河市が誇る日本最古の公園。

公園とされるゆえんは、楽翁こと白河藩主松平定信が造成したこの湖に、身分の差を越え庶民が憩える「士民共楽」という思想を掲げ、レクリエーション地として開放した場所とし、それが今日まで現存しているためです。

南湖周辺にある各食事処にて販売されている「南湖だんご」は、餅のように杵で搗いたものが基本。味付けは基本的に小豆餡とみたらしの二種類だが、それぞれの店で若干風味が異なり、食べ比べて好みの味を探すのも楽しみ方のひとつ。近年は店舗によりみそ、ずんだ、黒蜜きなこ、ゴマ、桜あんなどバリエーションが増えている。

このポイントのコツ

南湖公園東駐車場からのアクセスが良い。入口側の駐車場にはトイレも完備。神社周辺に向かっては比較的混みやすいので、ここから歩いてしまうのがオススメ。途中で団子やコーヒーなどをいただくのも良いです。

ポイント3

南湖神社境内と周辺の風景



- 見る対象:南湖神社 ■見る方向:北
- 見る場所:白河市菅生館 地内 (南湖神社参道入口から本殿方面)

このポイントについて

祭神は松平定信公。設立には渋沢栄一の支援もあり、1920年（大正9年）に神社設立が認可され、1922年（大正11年）に竣工、御鎮座大祭が行われました。境内には楽翁桜と呼ばれる樹齢200年のシダレザクラが御神木としてそびえるほか、春の桜のシーズンはもちろん、秋の紅葉シーズンにも木々が目を楽しませてくれます。

周辺にあるカフェ等では各食事処にて販売されている「南湖だんご」など和風の味のほかに、おいしい洋風のケーキなども販売されており、南湖だけで多種多様な味が楽しめます。

このポイントのコツ

南湖公園東駐車場からのアクセスが良い。近くの専用駐車場は比較的混みやすいので注意。色々な喫茶店やお店があるので南湖を見ながら歩いて散歩しながら来るのがオススメ。ポイント2とあわせて狙おう。

ポイント4

かしまじんじゃ けいだい しゅうへん しぜん 鹿嶋神社境内と周辺の自然



- 見る対象: 鹿嶋神社 ■見る方向: 北
- 見る場所: 白河市大鹿島 地内 (鹿嶋神社参道前から境内方面)

降雨時、橋、磐座は滑りやすいので注意！

このポイントについて

鹿嶋神社の例祭として行われる「白河提灯まつり」は、白河地方の総鎮守として、古くから人々の尊崇を集めてきたほか、四世紀に渡り隆盛を極め、白河の人々の精神文化の歴史、心のよりどころとして伝えられてきました。

日本三大提灯まつり(白河・弥彦・一色)の一つとしても数えられています

境内の奥にはパワースポットである磐座(いわくら)と本殿西側に樹齢1000年と云われている杉の大木(御神木)があります。

このポイントのコツ

専用駐車場あり。駐車場から撮影ポイントへは参道に戻る形になる。太鼓橋を渡る際は、しっかりした靴で。サンダルなどで安易に渡ると、痛い目を見ます(笑)。凜とした空気に触れてリフレッシュ。

ポイント5

しらかわえきしゃ しゅうへん まちな JR白河駅舎と周辺の街並み



- 見る対象: JR白河駅舎 ■見る方向: 北
- 見る場所: 白河市郭内、大手町 地内 (駅前ロータリーからJR白河駅舎方面)

このポイントについて

駅周辺は城下町として栄えた白河市の中心部であり、古い建物が多く残っています。このほか、駅前イベント広場、図書館「りぶらん」白河文化交流館「コミネス」など、居心地の良い施設が並びます。

特にコミネスでは連日、イベントを開催中。
カギガタシアターでは映画が上映中のほか、10月末にはドライブインシアター、11月初には「白河まちなか音楽3 Days2020」が開催予定。
訪れてチェックしてみるのも良いでしょう。

このポイントのコツ

駅にある駐車場は送迎車専用なので、駐車は絶対にしないで！
市役所駐車場から歩いてくるのがオススメ。近くのイベント広場の芝生や図書館に寄り道するのも、楽しいポイントです。

ポイント6

かんせんじ けいたい いちょうなみき 関川寺境内と銀杏並木



- 見る対象: 銀杏並木 ■見る方向: 北
- 見る場所: 白河市愛宕町 地内 (関川寺から関川寺参道方面)

このポイントについて

もと関銭院と称したと伝えられ、「関銭（通行料）」を取っていたのが由来と言われます。はじめ天台宗でしたが白河結城氏6代直朝が中興開山し、関川寺と号しました。現在残る地名「関川窪」はかつて関川寺があった地と言われ、現在の地に移転したのは天正9年(1581)のことです。

結城宗広・直朝の五輪塔や結城廟が残されています。
参道に面する銀杏の大木は秋にその色で人の目を癒してくれます。

このポイントのコツ

車で訪れる際は、市役所駐車場に停めるのが良いです。関川寺と市役所の間にある歩道は雰囲気があって楽しい。そのまま真っすぐ進むとポイント7にも近いので連続でポイントゲットできるチャンス！

ポイント7

やんたがわ 谷津田川せせらぎ通りと周辺の自然



- 見る対象: 谷津田川とその周辺
- 見る方向: 南西
- 見る場所: 白河市愛宕町/金屋町 地内 (市役所南側から南西方面)

このポイントについて

谷津田川（やんたがわ）は西郷村西部を水源とし、白河市中心市街地南側に沿いを東進、白河市搦目にて阿武隈川に合流します。

せせらぎ通りは白河市二番町の294号南湖橋北詰から小峰通りを経て南町の294号白河バイパス円明寺橋北詰に至るおよそ1.4kmの都市計画道路を言います。この通りは、西行一方通行の車道と幅の広い歩道、ポケットパークや公衆トイレが整備され、谷津田川の四季折々の景色を眺めながら散策ができ、サイクリングにもおすすめ。

道路工事にともない、沿線にかつて多数設置されていた水車小屋跡の発掘調査が行われ、そのうちしみずや跡の水車小屋が復元されました。

このポイントのコツ

駐車場が近くにはないので、車で訪れる場合は注意。特に目の前の道は、一歩通行なので、バックできないため注意。ここまで来たら、歩いて近くのしみずや跡水車を見ていくのもオススメ。

ポイント 8

ゆうげつざん ちょうじょう み こみねじょう ふく しがいち
友月山の頂上から見る小峰城を含む市街地

こちらにのポイントについては
台風14号の降雨における影響を考慮し、
安全のため中止と致します。

- 見る対象: 白河市街地
- 見る方向: 北
- 見る場所: 白河市友月山 地内 (友月山頂上から小峰城三重櫓方面)

このポイントについて

公園に隣接するこのポイントからは市役所を含めた景色が一望できる隠れたスポット。自然に囲まれ、ちょっとした運動にもなります。頂上にはあづまやがあるので腰かけて風景を見ながら一息つくのも良いでしょう。

公園側からの入口のほか、谷津田川側からの入口もあり、そちらは坂道を木の階段を使って割と急な坂道をあがります。

ちょっとした冒険感があるので小さなお子様と一緒に行くのも面白いかもしれません。

ふもとには戦争中に使われた防空壕の跡も見てとれる歴史を感じられるスポットになっています。

このポイントのコツ

駐車場はないため、市役所駐車場、もしくはポイント10から歩いてくるのがオススメ。近くの道路は細かったり、一方通行があるので車は注意。結構登りますがすぐ着きますのでご安心を。公園側から上がると易しめ。

ポイント9

しらかわせきあと しゅうへん しぜん 白河関跡と周辺の自然



- 見る対象: 白河関跡 ■見る方向: 東
- 見る場所: 白河市旗宿関ノ森 地内 (白河関跡入口から白河関跡方面)

降雨時、階段が滑りやすいので注意！

このポイントについて

白河の関は、鼠ヶ関（ねずがせき）・勿来関（なこそそのせき）とともに、奥州三関の一つに数えられる関所です。都から陸奥国に通じる東山道の要衝に設けられた関門として史上名高い。福島県白河市旗宿がその遺構に比定(他のものと比較して推定すること)されており、国の史跡に指定されている。

この付近ではとくに蕎麦が有名。そば祭りが開催されるシーズンになると多くの人でにぎわいます。

このポイントのコツ

市内から離れた場所にあるこのポイントは子供連れの皆様にオススメ。近くの関の森公園には大型遊具がおいてあり、思いっきり遊べます。関の森公園の駐車場からのアクセスが良い。

ポイント10

しょうなんこ しゅうへん しぜん 小南湖と周辺の自然



- 見る対象: 小南湖 ■ 見る方向: 南
- 見る場所: 白河市円明寺 地内 (小南湖ほとりから南東方面)

このポイントについて

円明寺の地に存在する通称「小南湖」と呼ばれる一帯は、江戸時代に白河藩歴代藩主の菩提寺などが置かれた場所です。初代白河藩主丹羽長重の墓や廟所をはじめ、元禄から享保期の藩主松平直矩・基知父子や、元禄期の藩主松平忠弘の子、清照の墓がある。明治43年（1910）ごろに池の改修や桜・楓の植栽などが行われ、公園として整備されました。付近では現在294号線の整備が行われており、開通すれば289号線に抜ける道がひらけ、南湖方面までのアクセスがとても良くなります。

このポイントのコツ

専用駐車場あり。途中、少しだけ道が狭いところがあるので注意。この奥には、白河の歴代大名の墓所がある。歴史深く、静かな空気は気持ちを落ち着けてくれます。ポイント8とあわせて狙おう。